



三愛だより

第63号 2020年 11月

社会福祉法人愛知三愛福祉会

日進市米野木町南山987-104

発行者：理事長 池田 曠



「気にしない愛」

理事長 池田 曠

人間には成長するにつれ発達する、見る、聞く、泣く、食べる、といった能力と、ピアノが上手だ、記憶力がすごい等といった、他の人よりも優れている特殊な能力があり、一般には何かができるのが優れていて、出来ないのが劣っていると思われがちです。

何かが出来て優れている人が、出来ない（劣っている）人に、なんでこんな事ができないの？と気になってしまう（え？あの方が？と、私も無意識のうちに他人をつい批判の目で見てしまっている）というような体験はありませんか？優れている人は劣っている人を気にしない関係（気にしながらも気にしない）が良い。夫と妻、嫁と姑、親と子、職場における上司と部下、友人関係等においてお互いを気にしながらも気にしない。それは、言い換えれば「許す」ということです。

「許す」という「気にしながら気にしない、愛」をもって気にしないことは大切なこと。私たち一人ひとり夫々が、足りないものを補い合って気にしながら気にしない「許しの愛」をもって共に仕え合う仲間でありたいと思います。

◇個人の能力をそれぞれ活かすことは多職種の集まるこの施設においてとても応用できる考え方だと思いました。

◇昔は相手に100%を求めていた時もありましたが、自分が出ないことが増えて、それは間違いだったと今になって思います。「許す心」を心掛けていきたいです。

◇それぞれの人の持つ強みの集合体で支えあうことを大事に思われていることが理解できました。

◇スタッフ同士が補い、住人さんの為に働くことが大切なことだと思いました。

「気にする能力と 気にならない能力」

9月25日

内部研修・理事長講話

◇理事長のお話をゆっくり聞くことができる貴重な時間、三愛スタッフの労をねぎらって下さり、また在り方を示して下さい嬉しかったです。

◇なかなか考える事のない内容なので勉強になりました。この仕事に繋がる重要な話でした。

◇理事長の優しいお話が心にしみました。

◇日々の業務や行事を行う上で、それぞれに抱えている状況、介護観の違い、性格等で色々な思いを抱くことがあります。「気にならない能力」は、ともすれば良いものではないと思われがちですが、自分自身が日々気持ち良く、そして、住人さんが心豊かに過ごしていただくための「価値ある心」であると思いました。

特別養護老人ホームのぞみ

「面会ができないことは感染症対策だからやむを得ない」と感じつつも、「どうしたら、住人さんやご家族の不安を解消できるか」試行錯誤を重ねました。そこで生み出したのがオンライン面会、ガラス越し面会です。この方法であれば、設定も比較的容易で、なによりも住人さんやご家族も顔を見るだけで表情がとたんに明るくなります。「不安」から「安心」に風向きが変わる光景を見ると、私たち職員の胸に迫るものがありますし、「今が踏ん張りどきだ」「力を合わせて乗り越えよう」というモチベーションにもつながります。

一度決めた取り組みをいつまでも継続するのではなく、状況の変化をしっかりと見極めながら、臨機応変に対応を決断することが私たちに求められています。全国の事業所の情報などを参考にし、みんなで知恵を出し合いながら、この状況を乗り越えていきたいと思えます。



大切な人との幸せな時間



ボランティアさんの素晴らしい生演奏♪



おしゃれで格好よくお願いします！



コロナ禍の「新たな



ショートステイのぞみ

コロナ禍の中でも皆さんお変わりなくご利用して頂いています。

以前と変わった事は、密接を避けるため、対面の席は使用せず、アクリル板を置いて飛沫予防をしたり、消毒をこまめにして感染予防に気を付けています。

コロナ禍の中でも皆さんには家庭と同じように過ごして頂いています。週1回ある理学療法士による身体機能・口腔体操は笑い声が聞こえ、皆さんとても楽しく体を動かしています。

気の合うお友達をたくさん見つけていただき、笑い声の絶えないずっと居たいと思っていただけの場所になるよう努めていきたいと思えます。



新聞を読んだり、洗濯物を畳んだり、裁縫を楽しんだり…



穏やかな日常を過ごしていただいています。



ご馳走はやっぱりうれしい！



グループホームあいわ

グループホームという環境の中で、春のお花見、秋には紅葉狩り、日常の買い物、美容院、喫茶店等、当たり前のように出掛けていたことができなくなっています。コロナ禍で外出、面会が思うようにできないストレスが多かれ少なかれ表れているのは間違いありません。

そんな中、誕生会、夏祭り、季節の年中行事（お彼岸、土用の丑の日等）を、住人さんと一緒におやつ・料理を作りながら楽しんでいただいています。



より美人に変身！
スタッフはカリスマ美容師！？



楽しい冬支度



大収穫！元気ハツラツ！！



「あいな生活」を楽しむ



あいな夏祭り

皆さん浴衣がお似合いですね！



デイサービスセンターさんあい

コロナウイルス感染拡大のリスクにより、それまで検討していた企画を実施することが難しくなってきました。コロナ禍でも、デイサービスご利用の皆様にご満足した時間を提供できればと考えています。

先日のレクリエーションでは、画家になっていただき、題材にした本を見て描くことで、集中力を高めたり、始めは描くことが苦手と言っていた方もご参加くださり、個性溢れる芸術的な作品が出来ました。完成した作品の鑑賞会では楽しそうに歓談される等、「芸術の秋」を満喫していただけたようです。



いくつになっても誕生日は嬉しいです。



コサージュがとってもお似合いです！



三愛だんごは絶品！



敬老会では華やかなお花も祝福

チューリップ基金バザー

コロナ禍、社会貢献推進活動の企画が行えない中、今回は職員対象に事務所前でバザーを開催しました。



住人さんのご家族様のお手製のマスクやブローチとっても素敵！

住人さんのご家族様にも一部出品にご協力いただき、心より感謝いたします。

仕事が終わりと、職員同士が顔を合わせ、楽しそうな笑顔で買い物をしていたのが印象的でした。集まった売り上げは園芸ボランティアさんにお渡しました。

今の状況を乗り越え、来年のチューリップを楽しみに。



お買い物って楽しい！

中庭が楽しみ



むらせさんだより

施設の庭木剪定、草刈り、営繕等、裏方で楽しい業務を日々独り占めしています。

今年の春は中庭に小鳥の巣箱とエサ台を設置しました。産卵することはありませんでしたが、エサ台は好評で、先日も、中庭で、作業中の私にヤマガラが、「エサ台のお皿が空っぽなので、入れて下さい。」と催促にきました。

園芸ボランティアさんもきれいな季節の花を咲かせて下さっています。中庭の金魚の池も30匹になりました。

住人さんや小鳥や金魚も「私のお家、みんなのお家」楽しく過ごしていただきたいと思います。



あたらしい仲間



「お一人おひとりに合った支援者になりたいです。」

氏名 中島 隆宏

所属 事務所

業務 デイサービスや病院の送迎

趣味 水泳が好きなのですが、好きすぎて、肩を痛めて筋力トレーニングで我慢しています。

アジア保健研修所で32年間、国際協力の仕事をしていました。

介護の仕事に興味を持ったのは自分の両親が高齢となった事、20代にインドのマザーテレサのところで「死に行く人」のお世話をしたからです。

氏名 鈴木 奈々

所属 医務室

業務 看護師

趣味 買い物

住人さんやスタッフさんが笑顔で過ごせるよう頑張ります。よろしくをお願いします。



編集後記

この「三愛だより」の構成をしている中、たくさんの写真を拝見しました。住人さんや利用者さんの楽しそうに明るい笑顔、優しい表情から、心が温かくなり、思わず笑みがこぼれてきました。

窓越しでの面会の場面では、大切な方との再会に胸がいっぱいになる一方で、もっと近くで、もっと触れられたらと、もどかしい思いになることさえあります。

コロナ禍であるからでしょうか、それぞれの場面を大切にしたいと写真を撮るスタッフの真摯な思い、そして、一人ひとりを大切に支え、一人ひとりと向き合い介護する姿があることを強く感じずにはられません。(M・K)

11月誕生花 アンゲレカム

花言葉：「祈り」「いつまでもあなたと一緒に」